

M ICHIKO-OHMI

近江 美智子さん

おみ 美智子
近江 美智子
生年月日: 昭和27年5月3日(A型)
職業: 料理店経営
趣味: 写真・スキー・音楽鑑賞
サークル: 写真集団「出来事89」
細坪基佳後援会



翔く留萌21

私は料理店を経営するかたわら、「細坪基佳」さんを一生懸命応援しています。

写真を撮るのも大好きで、今年留萌市の主催した宇宙一の夕陽フォトコンテストにも応募しましたが、残念ながら入賞できませんでした。が、これからもマイペースでやっていきます。

21世紀へ向けたまちづくりに対しての希望は、他の街から人を呼び込めるイベントや美味しい料理をどんどん企画して、積極的にアピールすることが大切だと思います。

多く人が集まることによって、マチは活気づきます。個々の人間がやりたいと思った

ことを実行するエネルギーを持つこと、そして、その夢を留萌市としてもしっかりと受け止め、応援してくれることを願っております。

若い人たちが、この留萌にとどまり、生きがいや、やりがいを見出してほしいと願っています。

これからは、若い人たちや主婦の力も多に発揮できれば、生き生きとした留萌になると思います。そのためには先輩者や家庭において旦那様のご理解も大変重要なことだと思います。

すべてのサークル活動はどれも私にとって大切なことばかりですが、一番注目を浴びているのは「オロロンライン振興会」るもい夕華衆”でしょう。

昨年の夏から始めたこの会は参加型のお祭りである”よさこいソーラン祭”を通して、いろんな人々が出会い、楽しむことが地域の活性化の手段にもなるのではと考えます。

21世紀へ向けた取組みとしては、オロロンラインや近隣の市町村のチームを留萌に集結して、オロロンソーランフェスティバルのようなものを開催することを目標にしています。神輿や山車がなくても踊り手と音楽だけあれば、みんな

が楽しめる祭りです。その特性を活かして、外の地域との交流を深めたいと思っています。

だんだん市民の平均年齢が上がっても、残った人々が気持ちよく快適に過ごせるまちづくりを期待します。

外からの観光客らを集めることも大切かも知れませんが、この地域に住む私たちが幸せに暮らすことを、若い世代にも伝えてゆければ、留萌市民もすばらしく育つのではないのでしょうか。



翔く留萌21

おおうち すみこ
大内 須美子
生年月日: 昭和35年8月17日(A型)
職業: 会社員
趣味: 読書・スキューバダイビング・野菜づくり・旅行・スキー
サークル: オロロンライン振興会(るもい夕華衆)・奈良裕之を留萌に呼ぶ会・中国語会話友の会・リサイクル運動の会・市民農園での野菜づくり・アフリカンドラムグループ「ボレボレ」・障害児の絵画展

S UMIKO-OUCHI

大内 須美子さん

市長 新年明けましておめでとうございます。

昨年は、市制50周年や第4次総合計画など、留萌市が新しい時代へ向けてスタートを切った年でしたが、このたびは、その中でも、市民活動で輝いた4人の女性をお迎えしました。

佐藤 私の周りには協力してくれてる人がたくさんいてくれたお陰で、昨年は本当に楽しませていただきました。

今までは、会員同士で好きな料理を作って味わっていたのですが、一歩前進して留萌のまちづくりにちよっぴりお役に立てたのではないかと会員一同喜んでおります。

対馬 留萌のPRにと、観光グッズを作り始めて5年目になります。アンテナショップが思いの他



おいしんぼクラブは今年で10年目を迎え、その記念すべき節目に、新しいことにチャレンジしようと思っています。

好評だったことと、物を作る人たちの交流ができたことがとてもうれしかったです。

市内には、個人、団体を問わず何らかの作品を作っているたちが沢山います。市長は「そこに住む人たちの心が、そのマチの文化になる。」とおっしゃっていました。

私もおそらく思っています。私たち4人が作る作品の大部分が手作りで、留萌で集めた材料を使っています。浜辺に自転車出掛け、貝殻や流木、ガラス石を集めてます。

豊かな自然に恵まれた留萌の魅力を生かしながら、みんな楽しく取り組んでいます。

市長 留萌らしい素材を生かしたまちづくりの発想が素晴らしいですね。

改めて女性のパワーを見直しました。

近江 私も女性の持っている力は無限だと思います。

留萌を少しでもPRできることを考え、実行することが大切なことだと考えます。私はいろいろと手掛けていますが、留萌市出身で、「白い冬」のヒット曲で有名な細坪さんを応援することを一番の目的にしています。

細坪さんのコンサートは、今で

も多くのファンを魅了しています。是非、地元で応援して一緒に留萌のまちづくりをすすめてほしいと思います。

市長 昨年、女性パワーが一気に爆発してYOSAKOIソーラン「るもい夕華衆」が結成されました。

大内 YOSAKOIもまちづくりの一つだと思います。でも、単に札幌の祭りに参加するだけではなく、まず、地元の底辺を広げながら留萌のPRも兼ねて行く計画です。

私は5年前から留萌に住んでいますが、留萌は豊かな自然に恵まれ、歴史、文化を大切にしている人が多く、そして、祭りが好きなマチと実感しました。そんな留萌がすっかり好きになってしまいました。でも、やん衆どすこほい祭りや呑涛まつりなど、すてきな祭りがあるのに、人々のかかわり方が上手でないと感じました。

もっと気軽に参加して、もっともっと楽しんでもらいたい。そして、マチのイメージアップをみんなですていきたいと思います。

また、サークル活動などを発表する場が少ないので、関わり方を知らない人も多いと思います。そんな中でアンテナショップは、趣

味を生かした人たちの、新たな出発点になったと思います。

市長 留萌は、スポーツや文化、まち起こしなどいろいろな形のサークル活動が多岐多岐とありますが、皆さんの話しを聞きますとサークル同志の情報や提携を求め意見が強いように思いますね。

確かにそのサークルのネットワークが広がることによって、新たな発想、新たな活動につながりますし、それが留萌のまちづくりに大きく貢献することになるでしょうね。

まちづくりは単に建物や施設をつくるというハード面ばかりでなく、本来は、その地域の文化を高めていくことが、まちづくりの本質ではないでしょうか。

そして、世代を超えて個々ができること、思うことを互いに交換しながら、育てることが大切なことだと思います。

昨年からスタートした、留萌市の第4次総合計画づくりに皆さんにも参加していただきましたが、やはりこのことが最も基本のような気がします。何か気の付いたことや希望がありますか。

近江 ぎやらりーアカシアを存続してほしいと思います。いろんな方たちの発表のできる場所ですか